



株式会社あいらいふ
〒163-0532東京都新宿区西新宿1丁目26-2 新宿野村ビル32階
TEL 03-6328-3121

2024年7月1日発信

報道関係者 各位

ご高齢の患者さんの入院中のことから退院後の暮らしの選択肢まで 疑問にお答えしながら解説！『入退院サポートガイド』発行

～病院の入退院支援を行う現場でご活用いただけるガイドブック～

シニアライフのトータルサポート事業を展開する株式会社あいらいふ（本社：東京都新宿区
代表取締役：藤田敦史、以下、「あいらいふ」）は、2024年7月1日（月）に、『入退院サポ
ートガイド』を発行いたします。



『入退院サポートガイド』は、医療ソーシャルワーカーや入退院支援看護師（以下、「入退院支援担当者」）がご高齢の患者さんの入退院を支援する際、患者さんやご家族へのご説明にご活用いただけるガイドブックです。

入院からの転院、退院など病院に関すること、病院の入退院支援担当者に関すること、介護保険や地域包括ケアシステムのこと、高額療養費・高額介護サービス費などお金に関すること、退院後の暮らしの選択肢やご自宅での生活、介護施設の種類や選び方など、入院から退院後にかけて直面する様々な状況を想定し、各場面で必要となる事柄を解説しています。

あいらいふでは、2016年に介護情報誌『あいらいふ』の別冊シリーズとして『退院ハンドブック』を発行、退院支援担当者のご相談者を読者対象としたガイドブックとしてご好評いただき、増補改訂版を発行し続けてまいりました。

今回発行した『入退院サポートガイド』は、『退院ハンドブック』を全面リニューアルしたものです。従来の『退院ハンドブック』は、誌名の通り退院直前から退院後の場面で役立つ情報を中心にまとめていましたが、『入退院サポートガイド』では、対象範囲を入院から退院後までに拡大しています。レイアウトデザインもシンプルなものを採用し、読みやすさとわかりやすさにこだわりました。

「退院調整看護師」とは？

退院後のこと

退院後、「特養」や「老健」に入所できますか？

入所条件や待機期間など、状況によっては、希望がかなわないケースもあります。

公的施設である特別養護老人ホーム（特養）は人気が高く、地域によっては入所まで数年かかる場合もあります。入所条件は原則として65歳以上、要介護認定で「日常生活には全面的な介護が必要」な状態である要介護3以上となり、また、初期費用は多く、月額費用のみで入所できません。個室は多床室よりも高価です。

同じく公的施設の介護老人保健施設（老健）は、中核療養目的のリハビリ、医療的ケアを中心としたサービスを提供する場で、原則3か月で退院する必要があります。また、入所中に必要な医療費や薬代はすべて施設負担となるため、治療費が高額な方は入所がかなわないケースもあります。

民間施設で生活しながら、公的施設に入所するまでの待機期間を過ごすこともできます。

入院中の患者さんの

入院中のこと

「医療ソーシャルワーカー」とは、何をしてくれる人ですか？

急性期病棟で治療後、社会へ在宅復帰を目的に、1日最大、時間のリハビリを集中的に行う病棟、リハビリテーション病棟です。厚生労働省が入院できる対象疾患や状態、患者ごとの入院期間を定めており、専門医が入院すべきかどうかを総合的に判断します。

そのため、知症の程度が本人の性格などの事情や意思の通いが回れず、リハビリの実施が難しい場合は、入院がかなわないケースもあります。

近年は、有料老人ホームでもリハビリが充実している施設が多く、実施回数や内容を調べるため、退院後の選択肢として有効です。

退院後のこと

退院後にリハビリテーション病院に転院できますか？

病気の種類や状態、コミュニケーション能力などを専門医が診断して決定します。

急性期病棟で治療後、社会へ在宅復帰を目的に、1日最大、時間のリハビリを集中的に行う病棟、リハビリテーション病棟です。厚生労働省が入院できる対象疾患や状態、患者ごとの入院期間を定めており、専門医が入院すべきかどうかを総合的に判断します。

そのため、知症の程度が本人の性格などの事情や意思の通いが回れず、リハビリの実施が難しい場合は、入院がかなわないケースもあります。

近年は、有料老人ホームでもリハビリが充実している施設が多く、実施回数や内容を調べるため、退院後の選択肢として有効です。

退院後のこと

回復期リハの退院期日と主な対象疾患

180日	高度脳動脈硬化を伴った重症脳血管障害 など
150日	脳血管疾患、脊髄損傷等の発症後もしくは手術後、または脳脊髄系損傷をきたす疾患
90日	大動脈、奇形、神経、脱臼脱臼、関節腔の閉鎖 など
90日	外科手術または閉鎖性創傷の手術による患部機能不全を呈しており、手術後または発症後の状態
90日	脳梗塞または脳出血の発症後の状態
90日	全身心臓病、脳心症発作その他発症した心大血管疾患 など
60日	大動脈、奇形、神経、脱臼脱臼の神経、筋または軟骨損傷後の状態

理学療法士や作業療法士などの職種により対応できるリハビリの内容は異なります。

入院がきっかけで、その後の生活が一変するご高齢者も少なくありません。必ずしもご自宅に戻って今まで通りの生活ができるとは限らず、療養型の病院へ転院することもあれば、介護施設へ入居するケースもあります。また、ご自宅に戻れたとしても医療的ケアや介護あるいはリハビリが必要となり、訪問看護や訪問介護サービスを受ける方もいます。

一般的に怪我や病気で入院する場合は急性期の病院へ入院しますが、急性期の病院では2週間以内に転院や退院を求められるケースが多く、退院後に自立した生活を送ることが困難な場合は、入院から退院までの短い期間で、必要となる生活環境を整えなければなりません。生活状況やお身体の状態は一人ひとり異なり、受けられる医療・介護サービス、また、入居できる高齢者施設にも様々な種類があります。こうした情報を「知っている」か「知らない」かによって、退院後の生活の満足度が変わってきます。

『入退院サポートガイド』をお役立ていただくことで、患者さんとそのご家族の退院後の生活が一日も早く落ち着き、安心なものになることを期待しています。

あいらいふは20年以上にわたり、有料老人ホーム紹介センターとしてシニアのお困りごとを解決してきました。月間で1,200件以上お寄せいただくご相談の中には、病院の入退院支援担当者からのものも多く、「短期間で集中的に施設を探しているが、見つからない」「ど

の施設がよいかわからない」というご相談も数多く承っています。『入退院サポートガイド』をご活用いただくことで、日々多忙な入退院支援担当者の業務の効率化につながることも期待しています。

『入退院サポートガイド』は、病院、居宅介護支援事業所を中心に配布される予定です。

本誌に関するお問い合わせは、フリーダイヤル0120-007-097（受付 9：00～18：00、土日祝・夏季休暇・年末年始を除く）にて承ります。

『入退院サポートガイド』概要

誌名 : 『入退院サポートガイド』

概要 : ご高齢の患者さんの「入院」から「退院後の生活」までのことがよくわかる、入退院支援担当者のためのサポートガイドブック

発行部数 : 6万部

※送料含め無料

「株式会社あいらいふ」概要

事業内容 : 老人ホーム紹介事業（あいらいふ入居相談室、老人ホーム・介護施設検索サイト「さがしつくす」）/トータルサポート事業/
まごころサポート事業/出版事業

設立 : 2002年7月5日

本社所在地 : 〒163-0532 東京都新宿区西新宿1丁目26-2 新宿野村ビル32階

相談拠点（直営） : 新宿（本社）、五反田、霞が関、上野、錦糸町、吉祥寺、立川、大宮、船橋、横浜、大阪、京都（他、シニア向け生活支援サービス事業「まごころサポート」のMIKAWAYA21株式会社との事業提携により提供する「まごころ入居相談」サービスを全国規模で展開）

ホームページ : <https://i-life.net/>